

# 学校教育 3つの重点に対する各学校の具体策

教育目標

確かな学力

豊かな心

健康な体

平瀬小学校 <http://school.shirakawa-go.org/hirasho/>

## ひとりだちする子 つづける子 つたえあう子 きがつく子

### 【書き取り計算大会】

30年以上前から続く学習大会です。全校児童がホールに集合し、漢字の書き取りと計算問題に取り組みます。「書ける」「できる」だけを目標にするのではなく、目標点数を自分で設定し、その目標達成のために自分で計画を立て、やりとげるところにも大きなねらいをおいています。学期に一度ずつ行っています。



### 【学習リーダーの育成】

3・4年生、5・6年生は複式学級ですが、それでも少人数の学級ばかりです。そのため教師の目が行き届きませんが、反面、教師に頼りがちになり自ら学習しようとする意欲を削ぐ可能性もあります。そこで、自分の力、仲間の力を結集して自分たちで学習を進められるように、児童は交代しながら学習リーダーをつとめます。「自分の考えは持てましたか?次は、5分間で考えを交流してください。」学習リーダーの指示で学習が進みます。

### 【思いやりの心を育てる道徳の時間】

週に一度の道徳の時間に、児童は資料をもとに道徳的な価値をつかみます。しかしそれは、自分とのかかわりの薄い価値のつかみ方である場合があります。そこで、つかませたい道徳的な価値とかわりの深い体験を意図的に仕組み、体験の中で感じたことや人とかかわりとつなげて価値の把握をさせています。中心とする価値は「思いやり」です。児童は、掲示物をたよりに体験をふりかえります。



### 【多様な人々とかかわり】

「思いやり」の心は、多様な人々とかかわる体験を通して育まれます。幼い子、お年寄り、体の不自由な方、確固たる信念を持って活動してみえる方…こうした人々を生活科や総合的な学習の時間に講師として学校にお招きし、ふれあう機会を多く設けています。また、デイサービスセンターなどへは児童が出かけて行き、学校のできごとなどをお知らせしたりふれあったりしています。

### 【一輪車名人! 縄跳びの達人!】

少人数の学校であることを利点ととらえ、いろいろな場面で縦割り班活動を取り入れています。2時間目と3時間目の授業の間(業間)を利用して運動に親しむ時間もその一つです。月曜日は一輪車、火曜日には縄跳びに取り組んでいます。両方共に段階表があって、一級を目指して取り組んでいます。進級するたびに認定証がもらえます。小さな子が上級生の姿にあこがれを持ちたり、上級生が小さい子を教えたりするほほえましい姿が当たり前に見られます。



### 【のため掃除】

「相手」を意識しての活動全般を「のため活動」と呼んでいます。その一環として「使う人のため」を意識した掃除が「のため掃除」です。これも縦割り班活動として行います。縦割り班は全部で7グループあり、1グループは4~5人です。校舎は人数に比べ広いので、教室・トイレ・ランクルーム以外は毎日掃除するわけにはいきません。ですから余計に「使う人のため」「初めてみえる方のため」児童は心を込めて掃除をします。



## ひとりだちする子 考える 思いやる きたえる



### 【聞く力、話す力の獲得を図る指導】

「～です。理由は～だからです。」「～が分かりません。」「～さんに似ていて、～です。」等の言葉を使って、積極的に挙手発言できる子どもをめざしています。そのために、めざす子どもの具体的な姿を掲示し、常に意識化を図りながら段階的に指導を行っています。授業中の仲間学びの場では、これらの言葉を用いた「質問」「付け足し発言」「比べ発言」「まとめ発言」を通して、自分の考えが深まったり、広まったりすることができるようにしています。

### 【「あたたかい言葉」が、いつでも、どこでも、だれにでも使える指導】

「言葉遣いは心遣い」と考え、児童会を中心に子どもたちが決めた数種類の「あたたかい言葉」を全ての教室に掲示し、意識化を図るようにしています。毎日の終わりの会では、いつ、だれに、どんな時に、その言葉を使ったのかをみとどけ、その言葉の達成状況を評価表に残しています。これらの言葉が、「いつでも、どこでも、だれにでも」自然に使え、「あたたかい言葉」が校舎内に響き渡ることをめざして、継続的に指導を行っています。



### 【自分の体は自分で守る】

健康面では給食後、10分間の歯みがきタイムを取り、正しい歯みがきの定着を目指しています。また、走力や柔軟性がやや劣っているので、外遊びや体育の授業で計画的に指導しています。安全面では「一人では登下校させない」という方針の下、必ず複数で登下校しています。また、自然災害や不審者等の情報提供のために、携帯メールによる連絡網を活用しています。



## ひとりだちする生徒 自己決定 協調 継続

### 【話す力、聞く力を身に付ける】

毎日の授業の中で、話し方、聞き方のマニュアルを基に、指導を行っています。培った「話す力・聞く力」は、校外学習（海外研修、大都市研修、能登研修）や文化発表会、生徒会等の行事で、具体的な姿として表れています。



### 【継続を大切にした習熟タイム】

平成12年度から習熟の時間「ステップアップタイム」を日課表に位置づけ、取り組んでいます。毎日、基礎的・基本的な事項を学習することは大切なことと考えています。行っている教科は、国語・社会・数学・理科・英語の5教科です。

### 【世界文化遺産を守る活動】

昭和62年度から、合掌造り家屋の屋根材の茅を刈る活動を行っています。教育委員会、合掌組合、地域の方等と共に活動することを通して、豊かな心を育てています。



### 【「はい、私がやります」運動】

生徒会が中心となって、自発的・自主的な活動の展開を行っています。主体的な活動や仲間と共に活動することを通して、協調性などの豊かな心を育てています。

### 【地域と一体となった部活動】

男女バレーボール、卓球部、柔道部、スキー部の部活動を設けています。各部とも伝統があり、毎年、成果を出しています。継続して取り組むことにより、体力をつけます。協力して一つの目標に向かって取り組みます。



### 【地域の中で健康づくり】

給食指導や歯磨き指導などの健康教育に力を入れています。健康づくりの発表の場として、体育祭やマラソン大会、スキー大会等で、日頃の体力作りの成果を発表しています。

# 社会教育 3つの重点に対する村の具体策

伸びゆく人 ―生きがいを持ち続ける村民―

## 【ライフステージに応じた学習機会の提供】

生きがいのある暮らしをサポートするため、村民のニーズに応じた生涯学習講座を開設します。諸団体と連携し、様々なニーズに応じた講座を開設します。



教養の向上と親睦及び心身の健康保持増進を図り、生涯にわたり生き生きとした暮らしをサポートするため、65歳以上の村民を対象とする高齢者学級を実施します。

## 【生涯学習施設の整備・充実】

生涯学習の拠点づくりのため、総合文化交流施設及び平瀬カルチャーセンターの整備・充実を図ります。村民が気軽に集い、語り、学べる場を提供するために、生涯学習講座の開設や中学生の寺子屋教室開催など施設の活用方法を検討します。



総合文化交流施設及び平瀬カルチャーセンターを若い親が気軽に集い情報交流できる場とします。乳幼児学級の活動拠点にすると共に希望に応じて施設を自由に開放します。また、子どもの豊かな心を育むために総合文化交流施設内乳幼児学級ルームに育児書や子ども向け絵本を充実させます。

## 【文化財・伝統芸能の継承と発展】

ふるさとに愛着と誇りが持てる人づくりをします。本村に伝わる文化や芸術を検証すると共に大人から子供たちへ伝え親しむ機会を提供し、互いの交流の中から思いやりのある創造性豊かな人間形成を図ります。



ふるさと教育を推進します。先人が生み出した文化や景観について理解を深めることを目的として、伝統文化に対する学習会を開催します。

### 【青少年に対する体験活動の機会充実】



地元の自然の素晴らしさや自然とのふれあいの楽しさを体感することを通して豊かな心を育みます。トヨタ白川郷自然学校と連携し、小学生を対象とした「里山遊び塾」を開催します。



様々な体験活動を通して豊かな心を育みます。中学生の海外研修や乳幼児学級での託児ボランティア活動などを実施すると共に、インリーダー研修をはじめとする子ども会活動活性化の支援をします。

### 【心豊かな子を育てる家庭教育の充実】

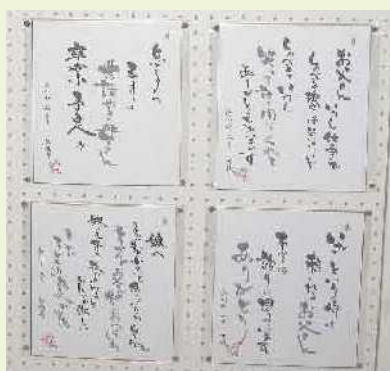
心豊かな子を育てるために親子のふれあい行事や子育て学習会を開催します。各小中学校家庭教育学級運営委員会が中心となり家庭教育学級を実施します。また、社会教育委員会主催の「子育ていろいろ談義」を開催し、意見交流を通して子育てについて学ぶ場を提供します。



若い親のネットワークづくりと子育てについて学ぶ場として、0～3歳児の親子を対象とした乳幼児学級を毎月開催します。子育て不安の解消と子どもの社会性を育みます。

### 【家庭・学校・地域が連携した地域ぐるみ活動の展開】

子ども達が安心・安全・元気に暮らせる地域づくりのために、道徳教育推進協議会や青少年育成推進委員会、子ども会育成委員会、教育会生徒指導部会、PTAなど各種組織・団体と連携強化を図ります。



愛情あふれる温かい家庭を基盤とし、地域ぐるみで子どもを見守り育てる雰囲気を醸成します。「子どもを地域で育てようキャンペーン～出会った子どもに声をかけを～」や「家族の一行詩」等の活動を展開します。

### 【連帯感を高める世代間交流活動の推進】

村民の親睦を深め地域の連帯感を高めるために、ソフトミニバレーボール大会やバドミントン大会、高齢者運動会等各種スポーツ・レクリエーション大会を実施します。同時に心身の健康保持増進を図ります。



心身の健康保持増進をしながら世代間の交流を図るため、同報無線による全村一斉ラジオ体操を実施します。

### 【活力ある地域づくりのための文化活動の振興】

活力ある地域づくりのために、青年団活動や公民館活動、クラブ・サークル活動を支援します。文化活動施設を開放すると共に活動の自主的運営促進を図ります。



生涯学習の推進を図ると共に豊かな心を育むために、学習成果発表の場として村民文化祭などの文化事業を充実させます。また、大勢の人が参加できるように配慮し、地域の連帯感を高めます。

### 【心身の健康増進のためのスポーツ活動の振興】

スポーツによる健康づくりを推進します。JSC（ジュニア・スポーツ・クラブ）や体育協会、各種サークル活動の支援をします。



村民の健康保持増進を図るため、いつでもどこでも誰でもできる軽スポーツの普及をします。高齢者学級・乳幼児学級・村民ウォークラリー大会等において体育指導委員による軽スポーツ講習や親子体操を実施します。